

事業報告書

団体名	山羊と育む食べられる森の会
活動名	江田島市に無農薬のお店をつくる
部門	☐ 自由テーマ部門 ☒ 提示テーマ部門
テーマ選択 (提示テーマ 部門の場合は 記入)	☐ しごとの創出 ☒ 人のつながり・縁づくり ☐ 子育てしやすい環境づくり ☐ 健康寿命の延伸 ☐ 継続 (テーマ:)
実施予定時期	令和 5 年 6 月 1 日 開始 令和 6 年 3 月 31 日 終了
活動の内容	(誰が誰を対象に、いつ、どこで、どのような内容の活動をどのような方法で行うのか。) 1. 無農薬販売所を建設しました。 2. 江田島市内で既に無農薬食材を生産している方々に声をかけ、販売所に出品して頂きました。 3. 食べられる森の拡充を図りました。 4. 果樹の防虫対策として鶏をコンパニオンに迎える為のネットを設置しました。 これら 4 つの活動を全国から学生ボランティアを募り彼らと共に進めました。 今年度は 74 名が江田島でボランティア活動や地域活動、そして観光を通して江田島の人々と交流し江田島の体験と縁を持ち帰りました。 。

	月	内 容
	7 月	資材発注
活動 実績	8 月	ボランティア受け入れ、各圃場へ飼料給餌 切串ひまわり祭り参加 鹿田圃場：フェンス修理 岡大王：圃場の草刈り フェンス材料ペンキ塗り
		ボランティア受け入れ、各圃場へ飼料給餌
	9 月	中町：販売所予定地の整地 鹿川第一圃場：牧草播種 鹿川第二圃場：鶏小屋設置、牧草播種
	1 2 月	ボランティア受け入れ、各圃場へ飼料給餌 鹿川第二圃場：幼木保護フェンス延長
	1 月	ボランティア受け入れ、各圃場へ飼料給餌 鹿川第二圃場：幼木保護フェンス延長 中町：販売所資材の加工開始
	2 月	ボランティア受け入れ、各圃場へ飼料給餌 イチジク苗木作り 鹿川第一圃場：スイートスプリングの定植 中町：販売所デッキ設置完了
	3 月	ボランティア受け入れ、各圃場へ飼料給餌 異文化体験ザンビア料理教室参加 日本語学校参加 鹿川第三圃場：幼木フェンス追加 鹿田圃場：水道補修工事、牧草播種、山羊小屋移動 中町：販売所完成

活動の効果と他団体、地域への波及効果	(この活動を通じて、市民、地域、他団体などにどのような波及効果があると考えているか。) 1. 全国に江田島ファンを増やす 作業を手伝ってくれるボランティア学生たちは今年度の実績は 74 名で滞在期間は 10 日間でした。 彼らが農作業や地域活動を通して江田島の人と自然と築く関係性は強く、今年度の再来島者は 8 名でした。 2. 縁を広げる 今年度は 8 月に切串で行われたひまわり祭りに参加しました。 また 2 月 3 月には作業の合間を縫って三高の日本語学校、宮ノ原隣保館のザンビア料理教室に参加して縁を広げました。 3. 食の安全 無農薬に特化した販売所は人々の健康に直接寄与し、そこでの縁作りは食の安全への啓もうへつな갑니다。 4. アニマルウェルフェア 動物との共存のモデルは命と自然への感謝と弱者への慈愛を育てます。 5. 観光 無農薬ショップはまだ全国でも稀なので新たな観光資源になります。
他団体との協働	(今後、他団体（行政含む）と協働して取り組む見込みはあるか。) ☒有 （想定している団体：村おこし NPO 法人 ECOFF、たいけん民宿トカランド） ☐無 (具体的な計画、これまでの取組など) 毎年 2 月 3 月 8 月 9 月、ゴールデンウィーク、年末年始、に ECOFF のホームページから江田島ボランティア募集を呼びかけていますが、今年度の取り組みとして江田島に「無農薬のお店をつくろう!」と呼びかけました。

活動のPR ポイント	(特に工夫した点や、創意工夫、特徴的な視点や手法など) ・ 自然環境の維持 ・ 食の安全 ・ 省人化農業 ・ 全国に江田島ファンをつくる
活動の持続性	(次年度以降、活動をどのように発展させていくか。本補助金を受けない場合、どのように資金調達を行い活動を継続するか。) ・ 無農薬のお店の出品者の売り上げの15%を活動資金に充てる ・ 活動に参加する体験を有償コンテンツとして活動資金に充てる

※事業概要の分かる資料を、A3・1枚程度にまとめて併せて提出してください。

活動の内容がわかる書類

鶏小屋設置



ザンビア料理教室



フェンス修繕



販売小屋作り



成果物



アニマルウェルフェア

